事業者向け	児童発達支援　自己評価表

公表　　令和　4年2月14日

職員計7名在籍

事業所名　　ここ　ぷらす八王寺

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		・密にならないようパーテンションを置くなどし、利用者が集中して出来るよう工夫して取り組んでいる。 ・パーテンションを使用するなどし個別対応における環境設定を行っている。利用人数が多い日には、相談室を活用し、見学や面談日の調節を行っている。 ・パーテンションを使用し空間の工夫を行っている。	・スタッフ間で連携し、空間の工夫を行い、環境設定を職員で連携を図り、今後も行います。
	②	職員の配置数は適切である	7			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所への設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		・その日に合わせて環境を整えながら支援を行っています。 ・個別活動の際など、パーテンションを使用し、活動に集中して取り組める環境作りを行っている。 ・個別活動では、周りに気を取られず集中して取り組めるようパーテンション等で個室を作り、スタッフと1対1で対応できるよう環境設定を行っている。 ・洗面台トイレは大人用の為、子どもたちが使いやすように配慮を行っている。 ・予定表や絵カードなど視覚的に見通しを持ちやすいものを使用している。	・一人一人に応じた情報伝達の配慮をより丁寧に行って行きます。
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもの活動に合わせた空間となっている。	7		・その日に合わせて環境を整えながら支援を行っています。 ・毎日心地よく過ごせる環境である為に消毒の徹底や、感染予防の徹底を行い生活空間を守っています。 ・活動が終わった後には、必ず清掃除菌を行っている。 ・常時換気を行う事や、アルコール消毒等を行い、清潔かつ感染予防に努めている。 ・朝、昼、夕清掃、消毒の徹底し、室内環境を整えています。 ・毎日の清掃チェック表を使用し、掃除の有無を計画を行っている。 ・活動内容に応じて、パーテーション等で空間を区切ることで配慮を行っている。	・活動の内容に合わせて環境設定を行っています。 ・清掃チェックシートを作成し、室内と車内清掃と消毒をその都度行っております。
業務	⑤	業務改善を進めるための、ＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		・毎日の朝礼終礼に、月に一回会議を行っています。 ・朝礼終礼を行い、活動の目的や振り返りを行い職員同士で周知している。 ・全員で参加している。	・朝礼終礼を実施し、良い点や反省意見を職員全員が述べる時間を作り、情報を共有しています。今後も継続的に行います。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			

改善	⑦	事業所向け自己評価表および、保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・月に一回会議を行っています。 ・月に一回の会議始め、事業所内研修を実施している。	・月に一回の会議と研修と、事業所内研修を行っており、必要な際には随時行っています。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成している	7		・スタッフ間で密な話し合いのもと、作成を行っている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		・こばと教材を使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	7			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		・一人一人に合った支援目標に沿って工夫をし考慮しながら支援を行っています。 ・支援計画に基づいて、目標を立てそれに沿って支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			・行えているが、計画案の充実を図る為、スタッフ一人一人が案を持ち寄り話し合いを行うようする。
	⑮	活動プログラムを固定化しないよう工夫している	7		・ひとつの案だけでなく、それを展開できるものを立案している。	・遊び、音楽、ダンスなど専門の知識のあるチームで立案を行い、実践反省を行い、年間、月間計画を行っている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7		・スタッフとも話し合いを含め作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		・細かく話し合いを行い進めている。 ・朝礼の際、活動内容担当決めなどの確認を行っている。 ・朝礼を実施し情報共有行い、支援の連携を行っている。 ・毎日朝礼を行い、活動やねらいを職員間で周知している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	7		・次の療育に繋げられ質の良い支援が出来るよう終礼を実施し、スタッフ自身もすっきりとした気持ちで1日が終えることが出来るよう、一人一人の意見を大切に振り返りを実施している。 ・終礼を行い利用者、保護者、園、その他の情報を話し合い共有している。	・打ち合わせをするが、臨機応変に動けない事もあるので、細かいところまで反省を今後も行って行きたい。
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		・役割分担を行い取り組んでいる。 ・支援目標に基づく記録をとるよう行っている。 ・終礼の際の振り返りをし改善すべき点などスタッフ間で話をし、周知￥している。 ・支援記録をならず取り、見返すことで、次の支援内容にも反映している。 ・連絡帳を書きその日の活動の様子や様々な支援を行う事で参加できるようにし、一人一人に応じた支援を行っています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		・細目に計画の見直しをしている。 ・チームで周知し見直しを行っている。 ・スタッフ間で当事者の目標についての話し合いをし、見直しの必要性を判断している。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連絡体制を整えている。	7			医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある利用者は現在おりませんが、連絡体制を整えております。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関などと連絡体制を整えている	7			医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある利用者は現在おりませんが、連絡体制を整えております。
	㉕	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			
	㉗	他の児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5		コロナウィルス感染対策を踏まえながら、企画を計画していきたいです。
	㉙	（地域自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7			
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		・送迎時に保護者にその日の利用者の様子を詳しく伝え、保護者との情報共有を行っています。 ・送迎時には保護者と活動の中で頑張っていた点などお伝えし、状況や課題の確認を行っている。 ・連絡帳や電話や送迎の際には利用の様子を伝えたり、保護者の困りごとに様々な思いを聞けるようにコミュニケーションを図っている。 ・体調の確認や、活動の様子をお伝えしている。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5	2		

保護者への説明責任等	㉜	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び、支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			
	㉞	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		・連絡帳を通じて悩みや、所内相談を行い支援を行っている。	
	㉟	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		今年もコロナウィルス感染拡大防止の為、発表会などの行事を開催していましたが、実行できませんでした。感染対策を踏まえて今後も実施てきたらと思います。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		・面談日程を調節し定期的に実施し日々の療育においてコミュニケーションを図りスタッフ全員周知し対応している。	
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		・予約表や取り組み内容を作成し、具体的に療育内容が分かるように配布している。	
	㊳	個人情報に十分注意している	7			
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		・利用日を把握して頂きやすいよう連絡帳に掲載する事や、自然にメールや電話連絡を行っている。絵カードやスケジュール作成を行い配慮を行っている。 ・職員間で連携を図りながら配慮を行っています。	
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7			
非常時の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		・事業所内研修などでマニュアルの確認を行い、実際に利用者が来所している時間に避難訓練を行い、非常時に備えている。 ・感染防止では、災害時の避難場所の確認や訓練を通して、把握し実施している。 ・定期的に再確認を行い、スタッフで読み合っている。	
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っている	7		・消火器の設置場所の掲示、避難訓練を行っている。	
	㊸	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		・職員会議を行い基礎的知識や実際に起こった時の対応等全員で周知している。 ・てんかん発作の対応を、周知している。	
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		・アレルギー調査票の記入を保護者に行っており、アレルギーの方は、おやつボックスに名前の掲載を行っている。 ・アレルギーのある利用者については把握し、それに基づきおやつを提供している。	
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		・同関係事業所のすべての事故報告とヒヤリハットの共有を行っている。	
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		・年間研修スケジュールに組み込み研修を行っている。	

㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	7		・個別支援計画に記載している。 ・管理者からの説明がありスタッフ間で周知し、そうならない為に、日々の支援の振り返りを行っている。	